

平成 25 年度事業報告

当会は公益法人改革に基づき、平成 25 年 4 月 1 日から「公益財団法人静岡県結核予防会」として新しくスタートした。これを契機に県民の健康増進に一層寄与できるよう、設立以来 70 年余りに及ぶ事業を充実させるべく、結核（感染症）をはじめとする呼吸器疾患や生活習慣病等の予防の為に健康診断、早期発見のための普及啓発などの法人目的達成の為に、総合的、計画的に事業を実施した。

健診事業については、県民の健康管理及び健康増進を目指し、結核を中心とする疾病の予防を図るため、感染症法、学校保健安全法、健康増進法、労働安全衛生法及び高齢者の医療の確保に関する法律などに基づいた事業を展開した。県内各地に所在する市町、事業所及び学校他を対象として、地域住民、事業所従業員、及び児童・生徒等に対する定期健康診断の他、生活習慣予防健診、特定健診などを、検診車による巡回健康診断や診療所所内健診として実施した。

さらに、結核を中心とした疾病の予防思想の普及向上のため、県内行政機関、静岡県結核予防婦人会等との連携のもとに、結核予防週間及び複十字シール運動等の啓発キャンペーン事業を展開した。また、広報誌「結核しずおか」作成や、結核予防に関する各種機関誌、ポスター、パンフレット等の関係機関への配布並びに出版物の頒布及びパネルの貸出し、各種講演会、研修会等の開催参画などの普及・啓発事業を行った。

また、新たに受診者数拡大のため、老健施設や近隣事業所へ訪問する営業活動を行うなど、検診業務の拡充に取り組んだ。さらに、個々の職員の経営等に対する意識の向上を図るために「職員提案制度」の実施のほか、全職員を対象に当会の経営状況報告や、外部講師による経営改善の成功事例の研修会などに取り組んだ。

I 健康診断事業の実施

結核を中心とする呼吸器疾患及び生活習慣病予防のため健康診断事業を行うため、県内各地を胸部検診車・胃部検診車・乳がん検診車・子宮頸がん検診車で巡回し、県民の健康を維持する活動を行った。

区分を住民検診、学校検診、事業所検診、施設検診・接触者検診に分け健康診断事業に取り組んだ。

1 住民検診

住民検診は、感染症・健康増進法・高齢者の医療の確保に関する法律や、「がん検診推進事業」「がん検診受診勧奨事業」により実施される検診を1人でも多くの方に受診していただくため、受診しやすい環境を作り、早期発見・早期治療に努めた。

区 分		25年度実績 (人)	24年度実績 (人)	対前年比 (%)
住民検診	結核検診(間接撮影)	8,670	9,424	92.0
	肺がん検診(間接撮影)	6,426	6,945	92.5
	結核・肺がん検診(間接撮影)	44,568	45,571	97.8
	結核・肺がん検診(直接撮影)	52	78	66.7
	肺がん喀痰細胞診検査	1,986	2,059	96.5
	胃がん検診	7,568	7,755	97.6
	乳がん検診	5,760	5,779	99.7
	子宮頸がん検診	2,867	2,167	132.3
	大腸がん検診	4,969	4,659	106.7
	骨粗しょう症検診	1,106	854	129.5
計		83,972	85,291	98.5

2 学校検診

学校検診は、学校保健安全法により実施される検診で、県内の公・私立高等学校・特別支援学校・大学・専門学校・小・中学校の検診を行った。

区 分		25年度実績 (人)	24年度実績 (人)	対前年比 (%)
学校検診	結核検診(間接撮影)	46,258	46,891	98.7
	結核検診(直接撮影)	157	136	115.4
計		46,415	47,027	98.7

3 事業所検診

事業所検診は、労働安全衛生法により実施される健診で、県内の事業所の定期健康診断・特殊健診を行った。さらに、健康保険法により実施される生活習慣病予防健診や、高齢者の医療の確保に関する法律により実施される特定健診も行った。また、がん検診（肺がん・胃がん・乳がん・子宮頸がん・大腸がん・前立腺がん）も同時受診を実施し、早期発見・早期治療に努めた。

区 分		25年度実績 (人)	24年度実績 (人)	対前年比 (%)
事業所検診	結核・肺がん検診(間接撮影)	44,884	50,430	89.0
	結核・肺がん検診(直接撮影)	3,588	4,789	74.9
	胃がん検診	4,470	4,803	93.1
	乳がん検診	1,425	1,478	96.4
	総合健診	17,787	17,590	101.1
計		72,154	79,090	91.2

4 施設・接触者検診

施設検診は、リフト付き胸部検診車やポータブル撮影機器を使用し、感染症法により施設の入所者（利用者）を対象に実施される検診と、労働安全衛生法により従業員を対象に実施される健診を行った。

接触者検診は、感染症法により実施される検診で、県・政令市と協力して行った。

区 分		25年度実績 (人)	24年度実績 (人)	対前年比 (%)
施設検診	結核・肺がん検診(間接撮影)	1,574	1,555	101.2
	結核・肺がん検診(直接撮影)	1,101	914	120.5
接触者検診	結核検診(直接撮影)	553	440	125.7
計		3,228	2,909	111.0

合 計 (1+2+3+4)		205,769	214,317	96.0
---------------	--	---------	---------	------

5 各検診結果の集計及び統計処理

独自のシステムの運用により、各検診結果の集計及び統計処理を行い、業務の効率化や精度管理に努めた。

II 普及啓発事業

1 結核予防週間

(1) 期 間 平成 25 年 9 月 24 日 (火) ~30 日 (月)

(2) 啓発内容

① 結核予防キャンペーンの実施

ア 開催日 平成 25 年 9 月 28 日 (土)

イ 場 所 アピタ静岡店施設内

ウ 実施内容

静岡市、静岡県結核予防婦人会と協力して、結核予防啓発リーフレット・啓発資料を配布するなど結核予防を呼び掛けた。

② ポスターの広報資料の配布及び掲示による広報

ア 結核予防等の正しい知識と対策が広く県民に浸透するよう、ポスターの掲示・資料の配布を県・市町に依頼した。

イ バスや電車内のポスター掲示などで結核予防を呼び掛けた。

③ 県内各地での結核予防キャンペーン

静岡県結核予防婦人会各支部の協力を得て、県内各地において結核予防のパンフレット、ポケットティッシュ等の配布とともに複十字シール募金運動街頭キャンペーンを実施し、結核予防思想の普及啓発を図った。

④ 報道機関等を通しての広報

結核予防週間キャンペーン等の実施案内を報道機関へ資料提供した。

2 普及啓発資料の作成、配布

(1) 広報誌「結核しずおか」の発行

年 2 回発行し、県民の健康増進に寄与することを目的に結核予防を中心とする知識の普及啓発及び当会事業内容を掲載した。

県、市町、病院等関係機関、事業所、複十字シール募金者等に配布を目的に 3,000 部を発行した。

(2) 啓発カレンダーの作成、配布

県、市町及び関係機関に配布した。

(3) 結核予防週間ポスター及びパンフレット(公益財団法人結核予防会作成)

を県、市町に配布した。

(4) 「複十字」(公益財団法人結核予防会作成)、「健康の輪」(全国結核予防

婦人団体連絡協議会作成)の冊子を県、市町及び関係機関に配布した。

(5) 結核予防・啓発用パネル等の貸出し

県、市町及び医療関係機関等に無償で貸出した。

3 県、市町、各種団体が行う健康まつり等への参加

県、市町、関係団体の各種行事に参加し、結核、肺がんに加えて、胃がん、乳がん等のパネル等を展示、啓発資料を配布、検診を実施するなど受診勧奨に努めた。

4 報道機関等への情報提供

結核予防関係の主要行事、結核予防関係資料等ニュース素材を報道機関に極力提供、広報活動の充実に努めた。

5 ホームページでの情報公開

当会は、公正で開かれた活動を推進及び結核を中心とする疾病の予防思想普及するため、活動状況、運営内容、財務資料等を積極的に公開した。

6 講演会の開催

平成25年9月20日(金)に、県民の健康増進に携わる県、市町の行政担当者や保健師等に専門家の医療情報を提供し、正しい知識を県民に広めることを支援するため、医療専門職の方を講師に招き、「障害者も健常者も共に幸せに暮らせる社会を目指して～足こぎ車いす産学連携の事例から～」の講演会を開催した。

7 表彰

県内各地域の結核予防事業の一層の推進を図るため、当会が定める表彰推薦基準に基づき県内各保健所長による結核予防功労者(個人)及び結核予防対策推進優良市町(団体)の推薦を受け、結核予防表彰規程に従い、選考委員による公正な選考により、表彰を行った。また、表彰に関する報告は、当会作成広報誌やホームページにて公表した。

(1) 結核予防事業功労者(個人)

坂田英夫様 (浜松市保健所 推薦)

(2) 結核予防対策推進優良市町(団体)

該当なし

8 複十字シール運動

結核予防の普及啓発活動、発展途上国への結核対策支援等の財源を得るために、公益財団法人結核予防会が主催する複十字シールを媒体とした全国一斉の募金活動に協力した。静岡県、市町、静岡県結核予防婦人会と連携し、マスメ

ディア等の媒体を通して結核予防思想の普及啓発に努めた。当会は、設立以来70年以上にわたり、県民を対象に募金活動を実施している。

(1) 募金実績額 14,343,229 円

(組織募金 12,899,469 円 郵送募金 1,443,760 円)

(2) 運動期間 平成 25 年 8 月 1 日から 12 月末日まで

(3) 運動方法

① 組織募金

従来どおり、静岡県結核予防婦人会の各支部に対して、それぞれの実情に即した方法で募金活動を依頼した。また、募金活動資金として募金額により定めた額を還元した。

② 郵送募金

郵送により個人、寺院、神社、事業所、各種団体に募金をお願いした。

③ その他

募金箱を年間設置し、募金をお願いする次の施設において、イベントに合わせて普及啓発活動を行った。

ア 秩父宮記念公園 (御殿場市)

イ 富士山こどもの国 (富士市：新規設置)

9 予防資材取扱事業

公益財団法人結核予防会が出版している一般向けのパンフレットや医師、保健師、看護師、行政事務職向けの専門書を販売し、結核に関する知識の普及啓発に努めた。

Ⅲ 関係機関との連携

結核予防活動を行っている静岡県結核予防婦人会の次の事業に対し、全面的に協力、支援を行った。

① 静岡県結核予防婦人会総会、会議等

② 結核予防リーダー研修会

③ 結核予防婦人団体中央講習会

Ⅳ 施設、設備の整備

検診機器のデジタル化の流れに対応するため、10年使用した中古の胃胸部検診車を購入した。なお当該検診車は平成26年度にアナログ胸部撮影機器をデジ

タル化にする。

V 諸会議等の開催

1 理事会・評議員会

理事会・評議員会は、事業計画、予算、決算等、定款に基づく事項を審議し、議決又は承認した。

2 ブロック会議、連絡会議

平成 25 年度結核予防会全国支部事務連絡会議(東京都で開催)へ出席

3 結核予防全国大会

平成 26 年 3 月 13 日(木)・14 日(金)に島根県で開催された第 65 回結核予防全国大会に参加した。

4 職員の研修等

(1) 公益財団法人結核予防会主催の研修会へ参加

- ① 公益財団法人結核研究所が行う各種研修及びセミナーへ参加
- ② 結核予防会事業協議会研修会へ参加
- ③ 結核予防会全国支部事務局長研修会へ参加

(2) 学会、各種団体主催の研修会、講習会へ参加

- ① 学会、各種団体が行う研修会、講習会に積極的に参加し、知識、精度並びに技術の向上等を図った。(胸部画像精度管理研究会、静岡県放射線技師学術大会及び講演会等)
- ② 業務に必要な資格取得の講習会に参加した。(第一種衛生管理者等)
- ③ 長野県支部より講師を招き、経営改善の成功事例の研修会を実施した。

(3) 静岡県結核予防婦人会主催の研修会支援

静岡県結核予防リーダー研修会(静岡県からの委託事業)の後援を行い職員も研修会に参加した。

5 職員提案制度の実施

VI 公益財団法人としての運営

新制度の下、自己責任運営が求められることから、今後は、ガバナンス、法令、定款、諸規定の遵守、加えて透明性の高い経営を心掛けるということが基本的な心構えとして要請されるため、公益財団として使命を果たし県民から大きな信頼を得る法人に努める。

事業報告の附属明細書

平成 25 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。